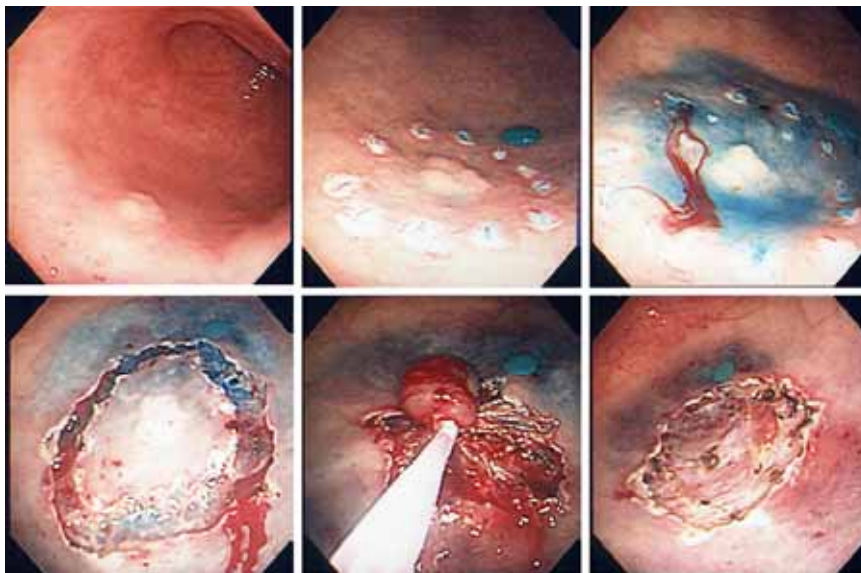


ERHSE (内視鏡的粘膜切除術) の概要



1	2	3
4	5	6



1) 病変の確認

内視鏡を挿入し、病変部を観察し、術前の診断を確認します。

2) 切開予定線の設定

病変から 5 ~ 10 mm 離し、高周波針状メスでマーキングをします。

3) HSE の局注

HSE 液 (止血作用を持っている薬剤) を粘膜下層に局注します。

マーキング部全体が半球状の膨隆を形成するように行います。

この操作により、術中・術後の出血を予防できる。粘膜下層に十分な HSE 液を局注することにより、次の切開の際、穿孔しづらくなります

4) 切開

マーキング部を針状メスを用いて、粘膜層まで全周囲性に切開します。

5) 切除

切れ込み部分にスネア (輪状のワイヤー) をかけて高周波電流を流して切除します。

6) 切除粘膜の回収

切除粘膜を回収します。回収した切除粘膜は病理組織検査に提出し、最終的な病理組織診断を待ちます。